

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立福住小学校 第6学年児童 112名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市の学校教育の重点の札幌らしい特色ある学校教育に位置付けられている「北国札幌らしさを学ぶ【雪】」にかかわって、ウィンタースポーツを窓口として「ふるさと札幌」を愛する心の育成を図る。 ・オリンピック・パラリンピックの精神やオリンピックの話から、運動やスポーツの楽しみ方を知るとともに、かかわる態度の育成を図る。
5 取組内容	<p>スキー学習が行われる札幌藻岩山スキー場に講師「川端絵美氏」を招いて、スキー滑走の技術やウィンタースポーツの魅力、「北国札幌」のよさについて学ぶ。</p> <p>○指導計画 [4時間扱い] [総合的な学習の時間] 1 / 3時間 ・冬季オリンピック・パラリンピックについての知るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や競技についての理解を深める。 [体育科～スキー学習～] 3時間 ・スキー場で、スキー滑走の技術指導をはじめ、ウィンタースポーツの魅力や「北国札幌」のよさについて、講師から学ぶ。 [総合的な学習の時間] 2 / 3時間 ・学習を通して考えたことを交流する。</p>

○学習の様子。



・川端絵美氏の紹介や競技種目について紹介するポスターを見て、関心を高める児童。

・札幌藻岩山スキー場でスキーの技術指導を受ける児童。



・川端絵美氏の体験をもとにした話を聞く児童。

6 主な成果

- ・TV等で平昌冬季オリンピックに関する情報が多くなるタイミングでの実施としたため、スキー競技に関心をもつ児童が多かった。
- ・アルペン種目に関する知識をスキー学習前にもてるよう、第6学年教室前に競技の様子が分かる写真を主としたポスターを掲示することで、どの児童も講師が出場した種目についての理解を深めることができた。
- ・子どもがより上手に滑りたいというスキー学習への新たな目標をもつことができ、真剣に講師の滑りを見たり、技能に関するアドバイスを聞いたりできていた。
- ・札幌は世界の中で最も雪質がよい地域の一つであることなど、ウィンタースポーツに親しむには恵まれた環境であることを、世界の雪を感じてきた講師の体験談から学ぶことで、子どもは札幌のよさを感じ、札幌を愛する心をより強くもつことができた。
- ・1回目のスキー学習で講師から学んだ内容を生かし、2回目のスキー学習では、スキーへの取り組み方やよりよく滑る方法を工夫

	する子どもの姿が見られた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 本実践では、第6学年のみを対象として実施したが、112名という多数の児童をスキー場で指導できるようにグループ分けした。しかし、予想以上にリフトの移動に時間がかかってしまった。スキー場の混雑状況も考慮しながら、効率的に指導してもらえるような工夫が必要である。 • せっかくの機会なので昼食時の交流まで含めて午後まで講師をお願いできるとよい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。